

society&business Tokyo25 journal

# 25journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com



■左のQRコードで東京25ジャーナルにアクセスできます。

## 浜中啓一青梅市長に聞く 青梅IC北側物流拠点整備2023年度着工 明星大青梅キャンパス跡地の買収目指す

2期目の任期が1年半になった浜中啓一青梅市長に市政の取り組み状況を聞いた。圏央道青梅インターチェンジ（IC）北側の物流拠点整備は2023年度に着工できるの見通しを示した。議会で疑問の声がある明星大青梅キャンパス跡地の買収には強い意欲を見せた。来年初にある市長選で3期目を目指す覚悟を明かした。4月14日、青梅市役所で。

2期目の任期が1年半になった浜中啓一青梅市長に市政の取り組み状況を聞いた。圏央道青梅インターチェンジ（IC）北側の物流拠点整備は2023年度に着工できるの見通しを示した。議会で疑問の声がある明星大青梅キャンパス跡地の買収には強い意欲を見せた。来年初にある市長選で3期目を目指す覚悟を明かした。4月14日、青梅市役所で。

物流拠点整備の進捗はどうか。

浜中 国と都による農林調整協議がほぼまとまった。2022年度中に市街化編入と都市計画決定告示を目指し、23年度に着工できる見込みだ。ただ、現在でもIC周辺に交通渋滞が見られるので、緩和できる方策を取っていくつもりだ。都市計画道路を通す計画がある。周辺の道路整備もできる所から進めていきたい。

物流拠点整備が完成すると周辺の活性化にも期待が高まる。

浜中 道の駅は当初から民間活力で取り組んでもらうのが良いと思ってきた。今井5丁目辺りの農業振興地域だが、イチゴ栽培施設などもある。今の法律では農業振興地域にも物産直売所や農家レストランなどがある。今の法律

も期待が高まる。

物産直売所や農家レストランなどがある。今の法律

も期待が高まる。



### 父の背中

先代の仕事と教え

「同時にそれは、村おこし」にもつながる決断だったのだろう。だからこそ、徹底して地場産業としての役割にこだわった。村特産の芋を使用した。職人たちの手で丹念に練

り込むバター練りと呼ばれる製造方法を採用した」

高品質な製品が登場するようになった。

「評判も上々で顧客も増えた。とはいえず、無理な販路開拓はせずに、人との縁を大切にしながら売上高を伸ばしていった。転機はスーパーマーケットや生協との取引。テナントとして出店することで商いも大きく広がっていく」

「同時にそれは、村おこし」にもつながる決断だったのだろう。だからこそ、徹底して地場産業としての役割にこだわった。村特産の芋を使用した。職人たちの手で丹念に練

り込むバター練りと呼ばれる製造方法を採用した」

## 絶品こんにやく村おこし

さしみで食べても旨いし、おでんなどの鍋物との相性も抜群。井上食品のこんにやくは、地域ブランドとしても不可欠の存在だ。あきる野市と檜原村の良質な産品の代名詞である「秋川溪谷物語」にも認証されている。

「創業は1968年。大正15年生まれの父、庄明が立ち上げた。井上家は代々、人里の地で農業を営んできたが、自立心が強く手先

### 井上食品 井上文喜氏



「同時にそれは、村おこし」にもつながる決断だったのだろう。だからこそ、徹底して地場産業としての役割にこだわった。村特産の芋を使用した。職人たちの手で丹念に練

り込むバター練りと呼ばれる製造方法を採用した」

高品質な製品が登場するようになった。

「評判も上々で顧客も増えた。とはいえず、無理な販路開拓はせずに、人との縁を大切にしながら売上高を伸ばしていった。転機はスーパーマーケットや生協との取引。テナントとして出店することで商いも大きく広がっていく」



市政の課題に前向きに挑む浜中青梅市長

かすみ直売センターがあり、民間事業を圧迫する懸念もある。

「梅の里」の再生と観梅名所の復活は。

浜中 2021年3月に国からウメ輪紋ウイルスの緊急防除区域指定の解除が出た。青梅市全体で新たにウメの植樹ができるようになった。条件付きで植樹が可能となった吉野梅郷の梅の

公園などでは2017年から植樹が始まっており、梅の里の再生に当たっては、梅の里再生基金に加え、企業版ふるさと納税も活用し、1億円を超える予算で対応した。これにより大きな苗木も購入でき、公園自体も再整備したので今まで以上に良い公園になった。既に見応えがあるものになってきており、今後は年々、ウメの木が成長を遂げることで華やかさを増す。かつて以上のにぎわいになると期待している。

**黒茶屋**

あきる野市小中野167 ☎042-596-0129  
令和4年5月の営業  
<月曜日を除く全日>  
ご昼食(11時~15時受付)  
ご夕食(前日迄のご予約制・土日祝は当日可)(17時~19時受付・21時閉店)  
<月曜日>  
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)  
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

**喰心庵**

あきる野市小川1633 ☎042-559-8080  
令和4年5月の営業  
<月曜日を除く全日> ご昼食(11時~15時受付)  
ご夕食(前日迄のご予約制)(17時~19時受付・21時閉店)  
<月曜日> ご昼食のみの営業(11時~15時受付)  
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

**井中居**

青梅市藤橋2-32 ☎0428-30-1661  
令和4年5月の営業  
<全日>ご昼食(11時~15時受付)のみの営業  
令和4年5月の営業  
<月曜日を除く全日>  
ご昼食(11時~15時受付)  
ご夕食(前日迄のご予約制)(17時~19時受付・21時閉店)  
<月曜日>  
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)  
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休

※新型コロナウイルスの感染状況等により、今後営業内容変更も仕舞い合わせの可能性があります。  
お越しの際はホームページが電話でご確認ください。



# 来年秋の市長選 3期目に意欲

### 市立総合病院の建て替えの進捗よく状況を聞きたい。

### 浜中 市立総合病院は、医療圏域が西多摩全域に広がり、幅広くより高度で専門的な質の高い医療が求められる中、西多摩地域の基幹病院として、新病院は2023年11月に本館がオープンし、26年に全工事を完了する予定だ。医療機器も最先端のものに入れ替え、手術室は現施設に比べ倍の広さになる。より質の高い医療を提供し、青梅市はもとより西多摩住民の健康、命を守っていく体制を構築したい。

### 大企業の撤退と大型事業が相次ぐ中で、市政の健全化に取り組んでいるか。

### 浜中 市税収入は、コロナ禍前まで200億円前後で推移しており財政運営の一つの目安としている。今年度予算は191億円に厳しい状況だ。市税に合わせた財政運営が求められる中、行政のコンパクト化を図っ

ていきたい。コンビニで住民票を交付し、振り込みができるなど、行政サービスでデジタル技術やデータ活用を推進し、コンパクト化を図りながらサービスの質を落とさない体制づくりを進めたい。こうした取り組みは職員数の削減につながっていくが、まずは外部委託している受付業務を見直すことなどが始めの1歩になる。モーターボート競走事業(ボートレース多摩川)は公営企業法の全部適用を実施し、市立青梅総合病院は今後、独立法人化も一つの選択肢と考えている。こうした流れを職員にも認識してもらい、行政改革につなげていきたい。



物流拠点整備の目的が立ち今後発展が見込まれる青梅インターチェンジ周辺 (撮影: 森下晴男さん)

そのモーターボート競走事業は市長がトップセールスを行ってきただこと売上を伸ばしているようだ。

### 浜中 市税が191億円に不足しているのはモーターボート競走事業からの繰入金で賄い、市民福祉は安定している。モーターボート競走事業の本場売上額は私が1期目をスタートした2015年度で約330億円、繰出金は約3億円だった。2020年度は630億円と倍近く伸び、繰出金は約20億円に伸びた。モーターボート競走事業の収益は、これまで2分の1ルールで市の一般会計とモーターボート競走事業の将来の負担に備え半分ずつ配分している。一般会計への20億円の繰出金は大きい。さらに2020年度は

厳しい状況にあった病院事業会計に10億円を補填した。観光政策と再開した吉川英治記念館についての手応えは。

### 浜中 遠出を控え、自宅から2時間程度までの近距離移動による旅行を楽しむ、いわゆる「マイクロツーリズム」が注目されている。市内11カ所にウォーキングコースを設定している。私も全て回ってみたい。市観光協会や関連事業者、団体などと協力して青梅の自然文化、食などの多様な魅力を発信していきたい。吉川英治記念館は昭和を代表する国民文学作家が青梅市に深くかかわった証で、宝だ。その足跡を次代に残すことは使命と思っている。

### 時代小説の期待の若手作家で、青梅市出身の谷津矢車さんが昨年11月に市内にUターンした。谷津さんを招いた講演会などのイベントを開催し、市民に改めて吉川文学の素晴らしさを伝えることも大事だ。

### 浜中 谷津さんについては市内の企業に勤めながら執筆していた作品も随分読ませていただいている。吉川文学については、人気ゲームなどのタイアップ展示などにより若年層の集客を図り、三国志をテーマにした展示を新たに実施するなど、魅

力を発信に努めているが、谷津さんの講演も是非聞いてみたい。

### 公共施設の再配置と青梅駅前地区市街地再開発事業はどうか。

### 浜中 公共施設の再配置は、人口減少が進む社会状況の認識を市民と共有し、財政状況を見ながら学校の再編を含め慎重に進めなければならぬ。人口減少は始まっており、近

い将来市民との合意点を見出していきたい。青梅駅前地区市街地再開発は、組合施工で0.5分の建設地に地上14階、地下1階の再開発ビルを建設する予定。3月に予定していた建設地の建物解体工事は11月に延期になったが、しっかりと進めていきたい。2階の公共公益床には図書館などを設け、1階には店舗が入る予定だ。子どもからお年寄りまで一緒に触れ合える交流空間を創出していきたい。

### 明星大青梅キャンパスの購入について見通しはあるか。総合スポーツセンター的な施設を考えているのか。

### 浜中 買収したいと考えている。約80分の広い敷地に本館、体育館、グラウンドなどがあり、グラウンドは毎週のように市内のスポーツ団体が使っている。グラウンドと体育館は利用価値がある。また、総務省が整備を進める地域のデータセンターを誘致したい。脱炭素社会を視野に都が掲げる2050年のゼロカーボンニュートラルに向けて、施設では太陽光発電や風力発電などを有効活用していきたい。都市計画法上の問題や用途の変更など都との協議も必要となる。これまで明星大とは売却価格の具体的な交渉に入っていない。現在、市議会総務企画委員会に所管事務調査として調査してもらっている。売却価格が決まれば議会に提示し、審議してもらい、理解をもらい進めていきたい。

### 来年秋の市長選に向け、意欲はどうか。

### 浜中 2022年度は第6次青梅市総合長期計画の総仕上げの年であるとともに、今後10年の進むべき方針を定める第7次青梅市総合長期計画を策定する年になる。継続性の観点からも3期目に挑戦させてもらうつもりだ。私自身、夢と希望を持ち続け、『あそぼうよ！青梅』のスローガンのもと、改めて、多くの方々に「訪れたい、暮らしたい、住み続けたい」と思ってもらえるまちづくりを、職員そして市民と一丸となって推進したい。

本日はありがとうございました。

## モーターボート競走事業 大幅に改善 2020年度繰出金は20億円

い将来市民との合意点を見出していきたい。青梅駅前地区市街地再開発は、組合施工で0.5分の建設地に地上14階、地下1階の再開発ビルを建設する予定。3月に予定していた建設地の建物解体工事は11月に延期になったが、しっかりと進めていきたい。2階の公共公益床には図書館などを設け、1階には店舗が入る予定だ。子どもからお年寄りまで一緒に触れ合える交流空間を創出していきたい。

### 明星大青梅キャンパスの購入について見通しはあるか。総合スポーツセンター的な施設を考えているのか。

### 浜中 買収したいと考えている。約80分の広い敷地に本館、体育館、グラウンドなどがあり、グラウンドは毎週のように市内のスポーツ団体が使っている。グラウンドと体育館は利用価値がある。また、総務省が整備を進める地域のデータセンターを誘致したい。脱炭素社会を視野に都が掲げる2050年のゼロカーボンニュートラルに向けて、施設では太陽光発電や風力発電などを有効活用して

### 来年秋の市長選に向け、意欲はどうか。

### 浜中 2022年度は第6次青梅市総合長期計画の総仕上げの年であるとともに、今後10年の進むべき方針を定める第7次青梅市総合長期計画を策定する年になる。継続性の観点からも3期目に挑戦させてもらうつもりだ。私自身、夢と希望を持ち続け、『あそぼうよ！青梅』のスローガンのもと、改めて、多くの方々に「訪れたい、暮らしたい、住み続けたい」と思ってもらえるまちづくりを、職員そして市民と一丸となって推進したい。

本日はありがとうございました。

**不動産全般**

(公社)全日本不動産協会 (公社)不動産保証協会  
東京都知事免許(2)第95965号

**有限会社 幸 邦**

代表取締役 **田村 実**

羽村市羽西 1-6-27  
Tel042-555-7901 Fax042-555-7902

戸建住宅に  
お住まいの方 **超高速インターネット光回線**

**ケーブルテレビは“テレビ”だけじゃない!**

**t-net光2.5G** 初期設定 遠隔サポート 安心ネット出張訪問 **0円!**

最大通信速度 下り 約2.5 Gbps / 上り 約1.25 Gbps

最新情報  
青梅・羽村・福生のケーブルテレビ局  
**TCN 多摩ケーブルネットワーク 0428-32-1351**



# 交通社が創業100周年 社は「誠実努力」の碑建立

## 創業精神の世のため、人のため次代につなげ 地域と共に発展

### 災害対応可能なキッチンカー製作 創業翌年に 関東大震災

自動車総合整備や保険業務を手掛ける交通社(福生市福生、田村勝彦社長)が今年創業100周年を迎えた。記念事業として炊き出しなどで使用するキッチンカーを製作したほか、社是の「誠実努力」の碑を建立した。4月27日に除幕式を行い、今後も地域のためになる事業展開に邁進することを誓った。(岡村信良)

同社は1922(大正11)年4月、初代社長の田村孫次郎氏が運輸業として創業した。孫次郎氏は勤務先の製糸工場で貨物自動車を目撃して、翌年、関東大震災が発生。東京が壊滅的な打撃を受ける中、罹災者の輸送、再建物資の運搬などで交通社の貨物自動車は大車輪の活躍を見せた。世の中に自動車輸送の時代の幕

開けを示すことになった。昭和に入り戦時色が強まると、主力事業を部品販売に切り替えた。戦後は部品販売に注力。自動車整備事業への道を拓いた。昭和30年代、高度経済成長が始まり、自動車社会の幕が上がると、1961年に現トヨタS&D西東京(株)の原点になるパブリカ多摩(株)を設立。時代の追

い風を受け、自動車販売と整備事業の両輪で急成長。店舗と整備工場を西多摩内外に拡大し、地域住民の充実のカーライフを支え続け、地域発展に貢献してきた。この間、社長は5代征利氏、利一氏と同じ都議会議員の道を歩む6代利光氏、7代勝彦氏に継がれている。なお、今年で創業100年の節目を迎える企業は全国で1050社あり。東京では約150社ほどになる。



「誠実努力」の碑を前に100年の節目に思いを寄せる田村社長と兄で前社長の田村利光氏(現都議会議員)

4代社長の天野正男氏がリーダーとなり躍進した。その後は保険事業に進出するほか、コンピュータシステム会社、西多摩新聞社や多摩ケーブルネットワークのメディア事業にも翼を広げ、トヨタS&D西東京(株)、西多摩運輸などを含め交通社グループ

社是の「誠実努力」を刻んだ石碑は、創業日の4月26日に合わせ27日、同社に隣接する田村社長の実家の敷地に建立された。除幕式には親族、同社を支えた歴代の役員ら関係者50人余りが出席。1世紀の歩みに思いを馳せた。碑は愛媛県北部で産出され、昔から石碑な

どに広く利用されてきた伊予の青石で、台座を含め高さ約2・3メートル、幅約0・8メートル。文字は利一氏が喜寿を迎えた際、揮毫した。田村社長は「振り返れば創業の時期は第1次世界大戦禍で、スベイン風邪が流行するなど正に100年後の今の世相を彷彿させるが、天は交通社に100年は通過点と試されているのだと思っ



キッチンカーは今後、車体を写真やイラストで化粧し、間もなく完成する。製作に当たった岡野部長(中)とスタッフ。機能的にレイアウトされた調理場

バンを改装。流し台、調理台、2口ガスコンロ、冷蔵庫などを搭載。設備の寸法に正確をきき、レイアウトを工夫したことで、コンパクトな空間ながら作業しやすい動線を確保した。車体には温かいご飯など炊き出しをイメージしたイラストが描かれるほか、歴史が分かる昔の写真がプリント。関東大震災復興に汗を流したことが原点であることが一目で分かるようにする。製作に当たった同社青梅工場の岡野博幸取締役部長は「初めての経験であり、手探りの中で、工夫を凝らし何とか納得のいくもの

ができた。様々な場面でキッチンカーが多くの人役に立てたらうれしい」と話した。